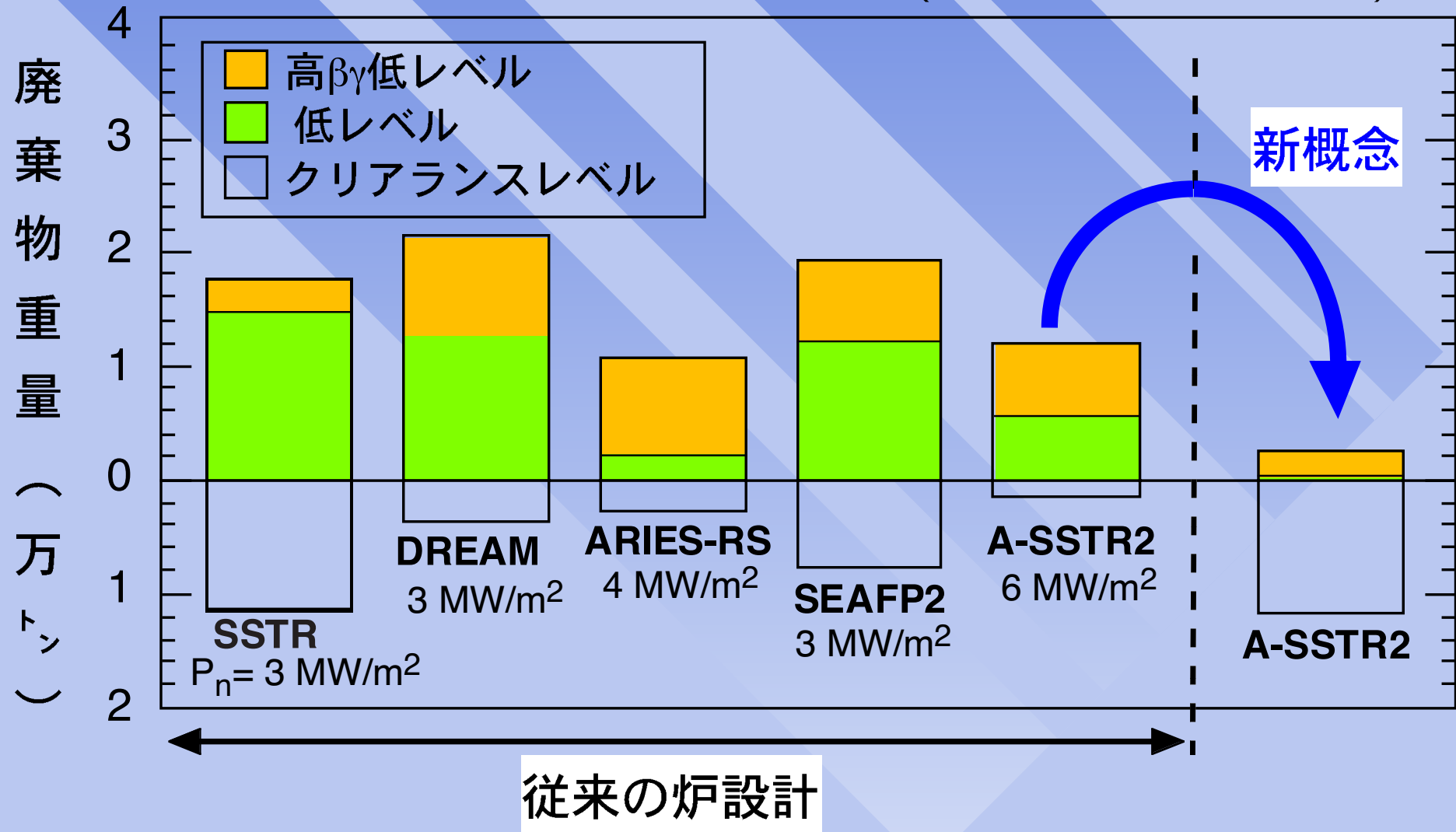


他のトカマク炉から発生する廃棄物との比較

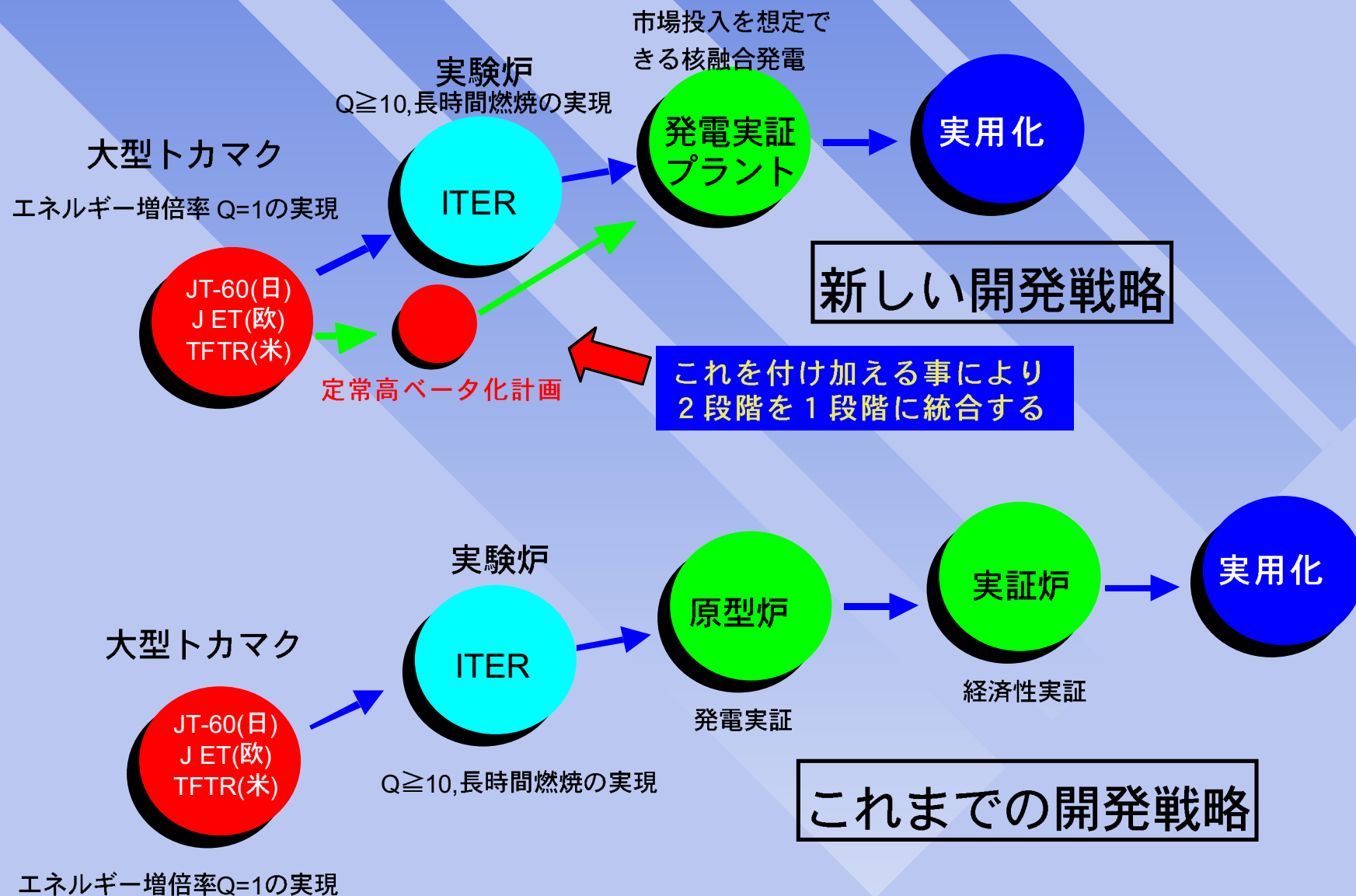
(電気出力 1 GWeで規格化)



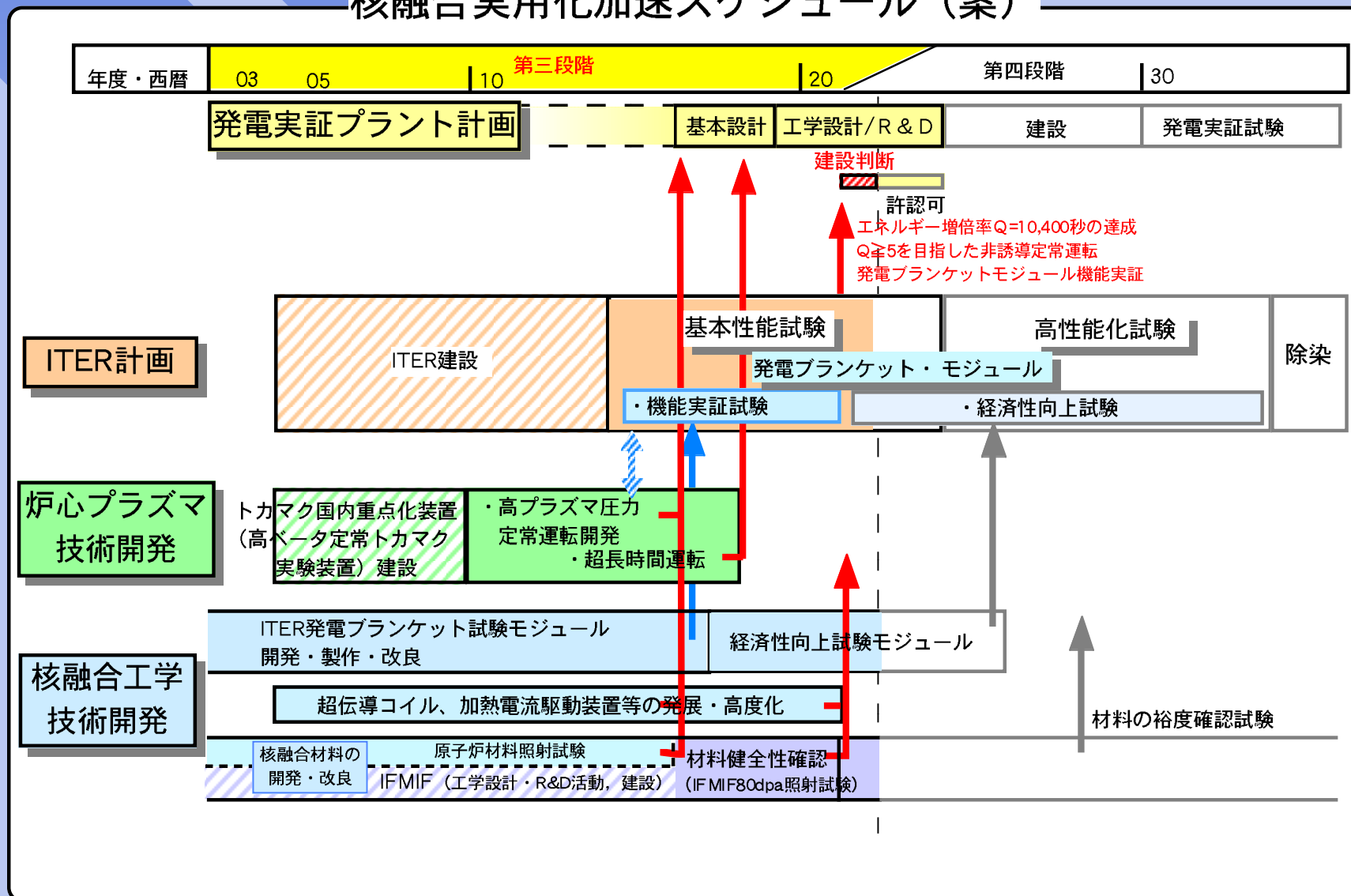
炉設計研究の進展

- ◎ 経済性改善に有効な定常高出力密度化（高ベータ定常運転、高磁場高出力化）や、トカマク機器の簡素化（大塚委員指摘事項：中心ソレノイドの削除等）の検討が進み方策が明らかになった。重要な点は、
 - ・ 発電プラントの規格化ベータ値として3.5～5.5程度が必要
 - ・ 中心ソレノイドコイルの削除が、炉設計に大きなインパクトを与える。
- ◎ 熱効率を向上するためのブランケット設計の高度化が進んだ。
- ◎ 廃棄物低減の方策が明らかになり、設計指針が明確化された。

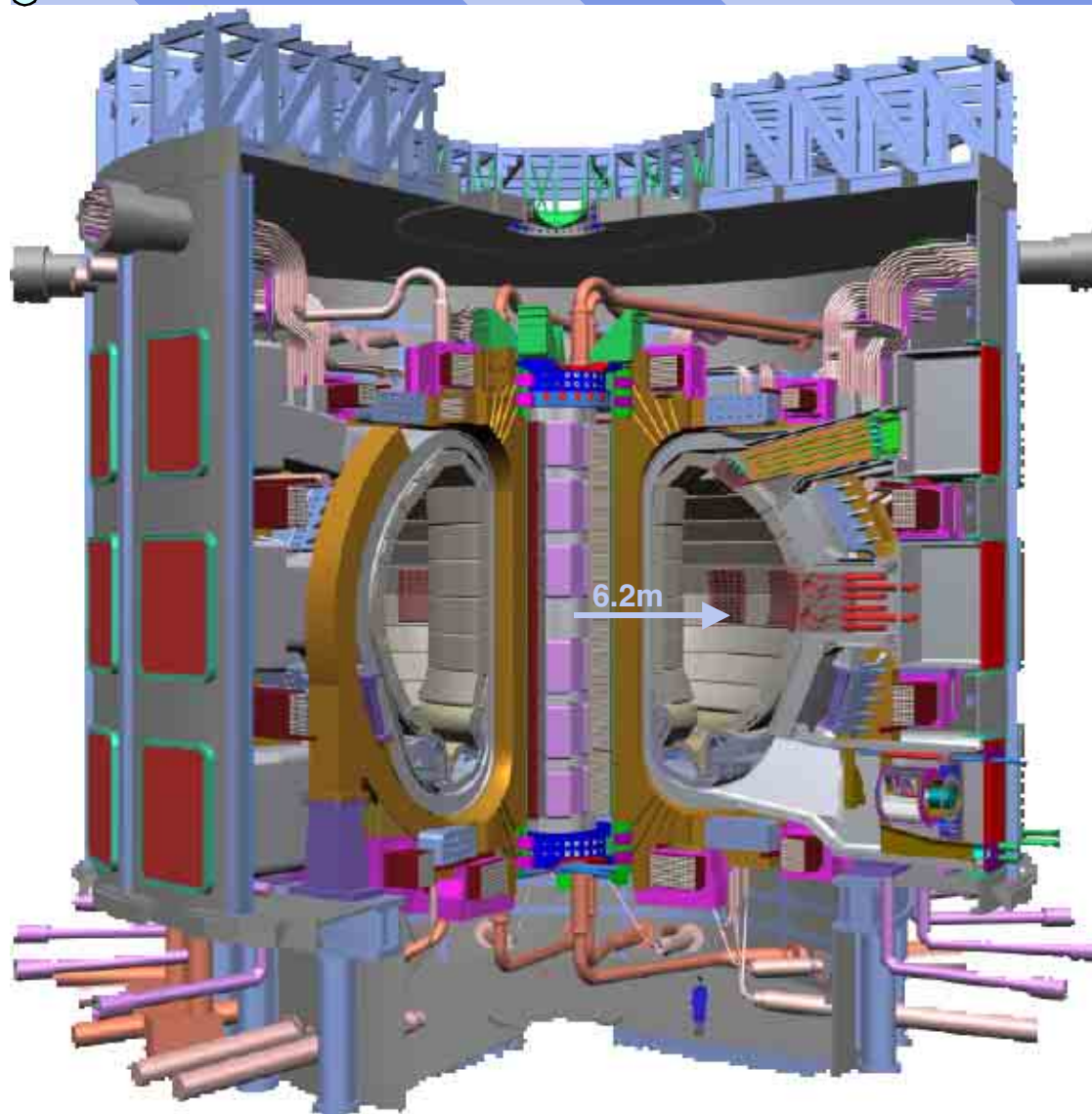
トカマク方式発電プラント実現に向けた開発戦略



核融合実用化加速スケジュール（案）

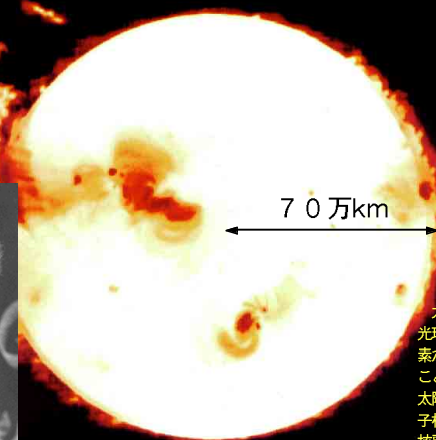
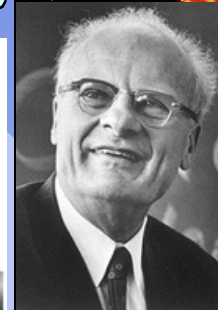


ITERは核融合エネルギーを目指す 科学研究の最後のステップ



太陽のエネルギー源は核融合反応

ハンス・ベーク



太陽の組成は、太陽光球の分光分析から水素が主要な元素であることが知られており、太陽中心では水素の原子核が起こすチェーン核融合反応によりヘリウムが生成されている。

ITERで実現する 炉心プラズマ技術

- ・ 燃焼プラズマ制御
- ・ 連続運転法